



## 鈴木 賢

一般社団法人東北経済連合会 政策会議議長

### 成長戦略支える基盤

安倍総理は、昨年10月に招集された臨時国会の所信表明演説の中で、アベノミクス「第3の矢」である成長戦略の実行を全面に掲げました。「産業競争力の強化策をはじめとする戦略の具体化に全力を挙げる」と決意表明しています。「『新しい成長』の幕開け」とも述べ、「デフレからの脱却」と「日本の再生」を目指した取り組みをさらに充実、加速する考えを示しました。

特に医療・介護分野は重点分野のひとつとして取り上げられています。再生医療や革新的な医薬品・医療機器等を安全、迅速に国民に提供する為の関連法案も昨年中に成立しました。

私が業界団体会長を務める医薬品卸各社は、公的制度の下でビジネスを展開しております。公的医療保険制度や、薬価基準制度の適正運用への協力は当然の義務であります。医薬品卸業界では業界をあげて流通改革をテーマに様々な課題に取り組んでいます。自由かつ公正な競争や経済合理性に基づく川上・川下取引の更なる定着へ向けて努力をしています。

また、生命関連商品である医薬品・医療機器を毛細血管のように張り巡らされた私たちの流通網で、日本全国、津々浦々にお届けすることも医薬品卸が担っています。さらに大規模災害時やパンデミック（汎発流行）発生時などの危機管理流通への対応強化に取り組んでいきます。

昨年は自然災害による被害を多く受けた年でもありました。冬場の豪雪、台風、竜巻、集中豪雨などによる土砂災害などにより、人的、物理的被害が多くありました。社会的に、防災・減災への関心がより一層高まった一年でした。こういった観点、そして東日本大震災の経験をもとにして、私たち医薬品卸は「社会インフラ」としての存在意義をより高める努力を継続しているところです。平常時の安定供給はもちろんのこと、大規模災害発生時やパンデミック発生時などの危機管理流通への対応をしっかりと行っていかなければならないと考えます。

これらの取り組みは、医療・介護分野の成長をささえる基盤を強化するものであると考えています。国民の皆様の安全・安心・健康に寄与することはもちろん、日本経済の成長に寄与すべく私たち医薬品卸業界も努力をまいります。

（株式会社バイタルネット 代表取締役社長・すずき けん）